



卓上型スキャナ

# Magellan™ 1500i

取扱説明書 Ver. 1.02

## はじめに

このたびはプレゼンテーションスキャナ Magellan™ 1500i をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本取扱説明書では Magellan™ 1500i の操作方法と外部機器との接続に基づく内容を記載しておりますので、必ずご一読頂きますようお願いいたします。なお、バーコードによる内部パラメータの設定方法は、別冊「バーコードメニューシート」に記載していますので、そちらを参照してください。

## ご注意

- (1) 本書の内容の全部または一部を無断で転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
- (3) 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り記載漏れなどお気づきのことがございましたら巻末記載の弊社担当窓口までご連絡くださるようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響については(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI - B

## 梱包内容

製品がお手元に届きましたら、すぐに開梱をして、以下のものがそろっているか確認をしてください。

もし、不足・破損等がありましたら、ご購入先の販売店、もしくは巻末の弊社営業担当窓口までご連絡をお願いします。

- |    |                    |   |
|----|--------------------|---|
| 1. | Magellan™ 1500i 本体 | 1 |
| 2. | チルトスタンド            | 1 |

## 表記について

本書では、スキャナを正しくお使い頂くための重要な情報について以下の様な記号を用いています。



**NOTE** NOTE には、スキャナを適切に診断、修理、操作する場合に必要な情報が記載されています。



**注意** 「注意」記号は、機器や建物に損害を与える可能性がある行為について忠告します。

## 目次

保証範囲 .....	3
使用上の注意 .....	4
1. 各部の名称と機能 .....	6
2. セットアップ方法 .....	7
3. 読み取り操作方法 .....	9
4. スキャナボタン .....	10
5. LED とビーパ音の表示について .....	11
6. トラブルシューティングとエラーコード .....	12
7. 設定コード .....	13
8. 製品仕様 .....	23
9. 英数字キーパッド .....	26

## 保証範囲

### 保証期間

本製品の保証期間は、ご購入日より3年とさせていただきます。

保証期間中に納入者側の責により故障が発生した場合は、無償にて修理又は交換を行います。ただし、保証期間内であっても、次に該当する場合は、保証の範囲から除外させていただきます。

- ① 需要者側の不適当な条件・環境・取り扱い使用方法に起因した故障。
- ② 故障の原因が納入者以外の事由による場合。
- ③ 外装部品の損傷が著しい場合。
- ④ 需要者側で分解、調整、改造等による故障および損傷。
- ⑤ 地震、火災、水害、落雷等の災害および天災地変による故障および損害。
- ⑥ シリアル番号が欠落、損傷等でその内容が確認できない場合。
- ⑦ インターフェイスクーブル、ACアダプタ、スタンド等の別売りアクセサリは不具合品を除き、消耗品扱いにて保証対象外とさせていただきます。

尚、ここでいう保証は納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦頂きます。

### 修理

修理は全て送付バック方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

### 年間保守

販売時から、又は販売後2年以内であれば、弊社規定の年間保守サービスのプログラムに加入することが可能です。年間保守費用で1年間の修理対応を無償で対応いたします。詳細は弊社リペアセンターまでお問い合わせください。

## 使用上の注意

### 取り扱いに関する注意

本製品に下記のような過度のストレスを故意的、意図的に加えないでください。

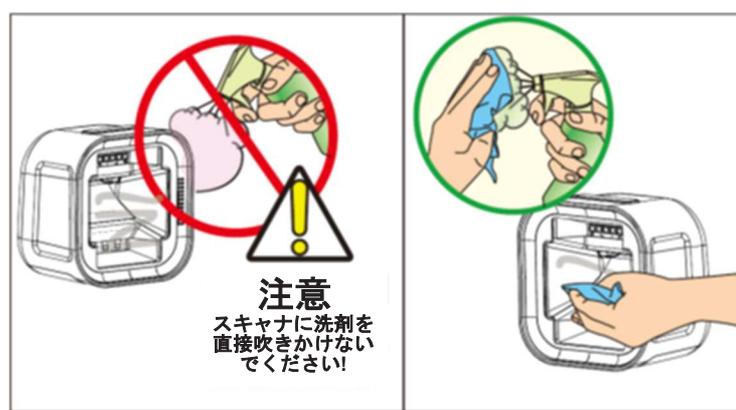
- (1) 本製品の使用温度範囲外での使用をしないでください。  
熱器具などの発熱物の近くや、0度以下の冷凍倉庫、寒冷地の半屋外などでの使用はしないでください。
  - (2) 過度の熱ストレスを与えないでください。  
直射日光が長時間当たる場所に放置、熱湯をかける、火中への投入、あるいは熱器具などの発熱物の近くに放置などはしないでください。
  - (3) 過度の衝撃を与えないでください。重い物を乗せたりするなどはしないでください。
  - (4) 異物を侵入させないでください。  
液体をかける、化学薬品をかける等はしないでください。
  - (5) その他：
    - ・ 分解をしないでください。
    - ・ 必ず動作電圧の範囲内でご使用ください。動作電圧の範囲外でのご使用は故障の原因となります。
    - ・ 粉塵の多い場所、湿気が異常に多い場所、水を扱う場所での使用はしないでください。
    - ・ 本製品は落雷等により不都合が生ずることがあります。
    - ・ 濡れた手でケーブルの接続や取り外しを行わないでください。故障・感電の原因になります。
    - ・ ケーブルをねじったり、強く引っ張ったりしないでください。重たいものを載せないでください。
    - ・ ジャック、コネクタ類は外部から衝撃を加えたり、負荷を加えたりしないでください。
    - ・ 揮発性の高い有機溶剤（シンナー・ベンジンなど）や薬品、化学雑巾で拭かないでください。  
また、殺虫剤を吹きかけないでください。故障の原因になります。
- これらは故障・感電（火災）、ケースの変形や変色の原因になります。



注意

### お手入れ

こぼれた液体、汚れ、細片が蓄積している外面やスキャンウィンドウは、スキャン時の性能を最適に維持するために定期的にお手入れする必要があります。清潔で糸くずの出ない布またはペーパータオルに、刺激の弱い非研磨水性洗剤を湿らせて、スキャンウィンドウや外面のしみ、汚れ、指紋、こぼれた液体などを拭き取ります。



注意

本製品の清掃に研磨剤入りの洗剤や研磨パッドを使用しないでください。刺激の強い化学薬品、殺菌剤、クレンザにより破損が生じ、スキャン性能に悪影響を及ぼします。

メーカー推奨の洗浄剤の一覧については、以下を参照してください。

## メーカー推奨の洗浄剤

本製品に対して以下の洗浄剤の使用をお勧めしています。



### 推奨洗浄剤

- 過酸化水素(3%を超える溶液は不可)
- 塩素系漂白剤(0.25%を超える溶液は不可)
- 中性洗剤および水
- イソプロピルアルコール(70%を超える溶液は不可)



上記の洗剤をそれぞれ混ぜ合わせた状態で使用しないでください。健康被害の危険が生じる場合があります。洗浄溶液の使用時は、規定されたすべての安全上の注意事項に従ってください。

研磨剤入りクレンザ、研磨パッド、苛性溶液、その他刺激の強い化学薬品(以下に示すものを含む)は、スキャナのいずれの部品にも決して使用しないでください。これらが原因で破損が生じ、スキャンの性能に悪影響を及ぼします。このような物質を使用した場合、単体での使用または他の洗剤との組み合わせによる使用を問わず、メーカー保証は無効になります。



### !!使用しないでください!!

- |            |                        |
|------------|------------------------|
| • アンモニア溶液  | • トリクロロエチレン            |
| • アセトン     | • トルエン                 |
| • ベンゼン     | • 石炭酸                  |
| • エタノールアミン | • 芳香族炭化水素または塩素化炭化水素    |
| • エーテル     | • 水性またはアルコール性のアルカリ性水溶液 |
| • ケトン      |                        |

# 1. 各部の名称と機能

## Magellan™ 1500i

グッドリードライトランプ/  
スキャナボタン

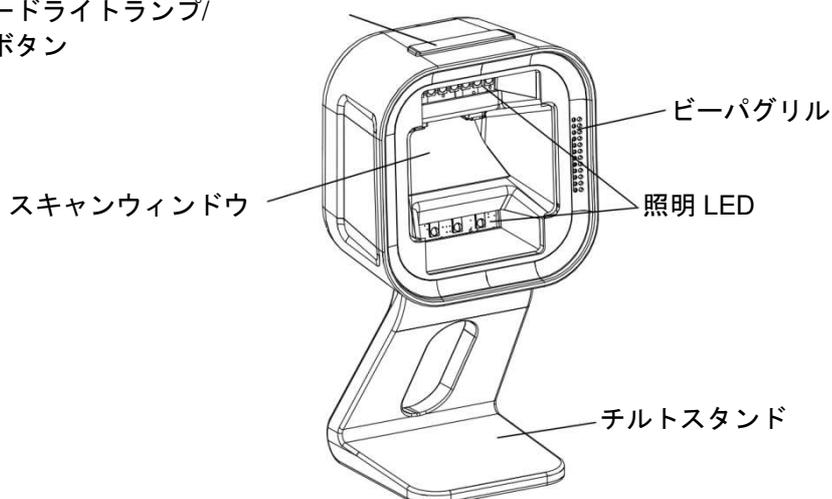


図 1.スキャナ機能 - 正面図

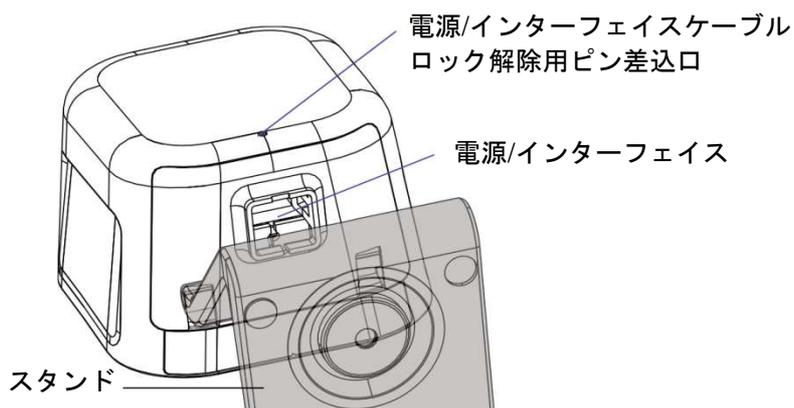


図 2.スキャナ機能 -底面図

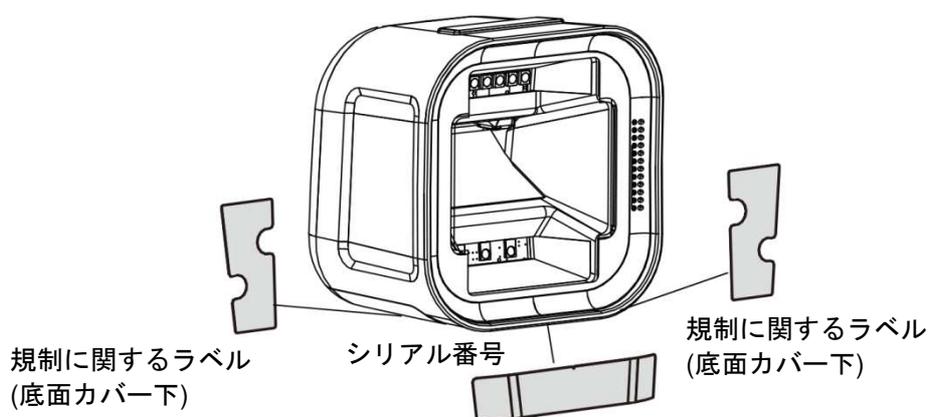


図 3. ラベル

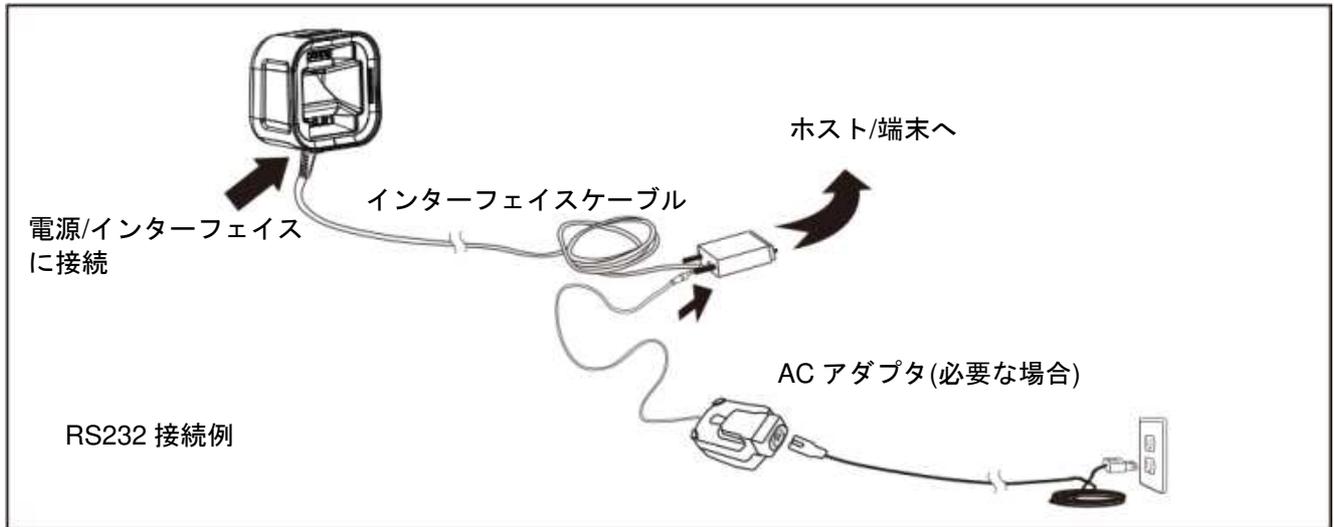


### NOTE

規制に関するラベルを見るには、スタンド/カバーを取り外します(8 ページ参照)。ここでは、ラベルの場所だけを示しています。具体的な内容については、お手元の製品のラベルを確認してください。

## 2. セットアップ方法

端末またはホストからインターフェースケーブルを敷設します。ACアダプタ(使用している場合)のACプラグをコンセントに差し込み、DCプラグをインターフェースケーブルに差し込み、インターフェースケーブルを配線してスキャナに接続します。印刷品質が保証されているバーコードをスキャナに向けて読み取らせて、動作を確認します。スキャナはビーブ音<sup>1</sup>を鳴らすか、グッドリードLEDを点灯させて、バーコードデータをホストまたは端末に送信します。この動作が行われない場合、本書の「トラブルシューティング」(12ページ)を参照してください。これで、スキャナの設置は完了です。



Magellan 1500i は、インテリジェント照明テクノロジーを使用して、印刷物やモバイル機器のバーコード自動読み取り、利用場面により異なるコントラスト環境での画像キャプチャなど、バーコードスキャナのさまざまな機能に応じて光レベルを最適化します。

### スタンド/取付台座(オプション)

スキャナには、オプションでスタンド/取付台座を取り付けることができます。スタンドと取付台座の底面には滑り止めパッドが貼られており、任意の水平面またはカウンターの上に載せることができます。スタンド/取付台座を取り付けたスキャナは、カウンターの上を移動したり、手に持って使用したりできます。

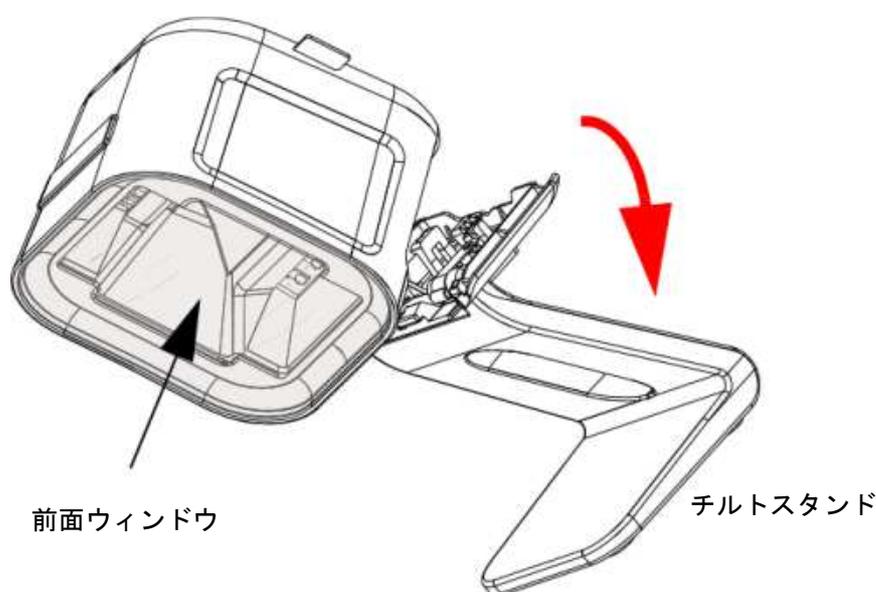
<sup>1</sup> ビーパとLEDの動作は選択可能であり、無効に設定している可能性があります。

## スタンド/底面カバーの取り外し

**注意**

最初に説明に従ってケーブルを抜いてから、スタンドを取り外してください。ケーブルを外さずにスタンドを外そうとすると、スキャナが損傷する可能性があります。

- ① 図 2(6 ページ)に示すように、ロック解除用ピン差込口にクリップなどを差し込んで、ロックを解除した状態で電源インターフェースケーブルを抜きます。
- ② インターフェースケーブルを抜いた後、スタンドの底面を正面(前面ウィンドウの方向)に向かって引っ張って、スキャナから取り外します。正しい方向に引っ張れば、簡単に外れます。



## マグネットマウントの取り付け

スキャナは、マグネットマウント（読取面旋回用磁気固定具）を付属のネジで留めることによって半永久的に平面(垂直または水平)に固定できます。チルトスタンド/取付台座(オプション)のいずれにもマグネットマウントを取り付けて、磁力により位置を保持することができます。また、マグネットマウントを支点にして、スキャナ本体の取付方向を簡単に360°回転することができます。

また、図 4(9 ページ)に示すように、スキャナは、チルトスタンドまたは取付台座を取り付けた状態で手に取って、ハンドヘルドモードで読み取りを行うこともできます。

### 3. 読み取り操作方法

バーコードは、カウンターまたはオプションのスタンドの上に置かれた状態でスキャナに向けてスキャンすることもできます。手に持ちやすい形状なのでスキャナを手にとってバーコードに向けてスキャンすることもできます。

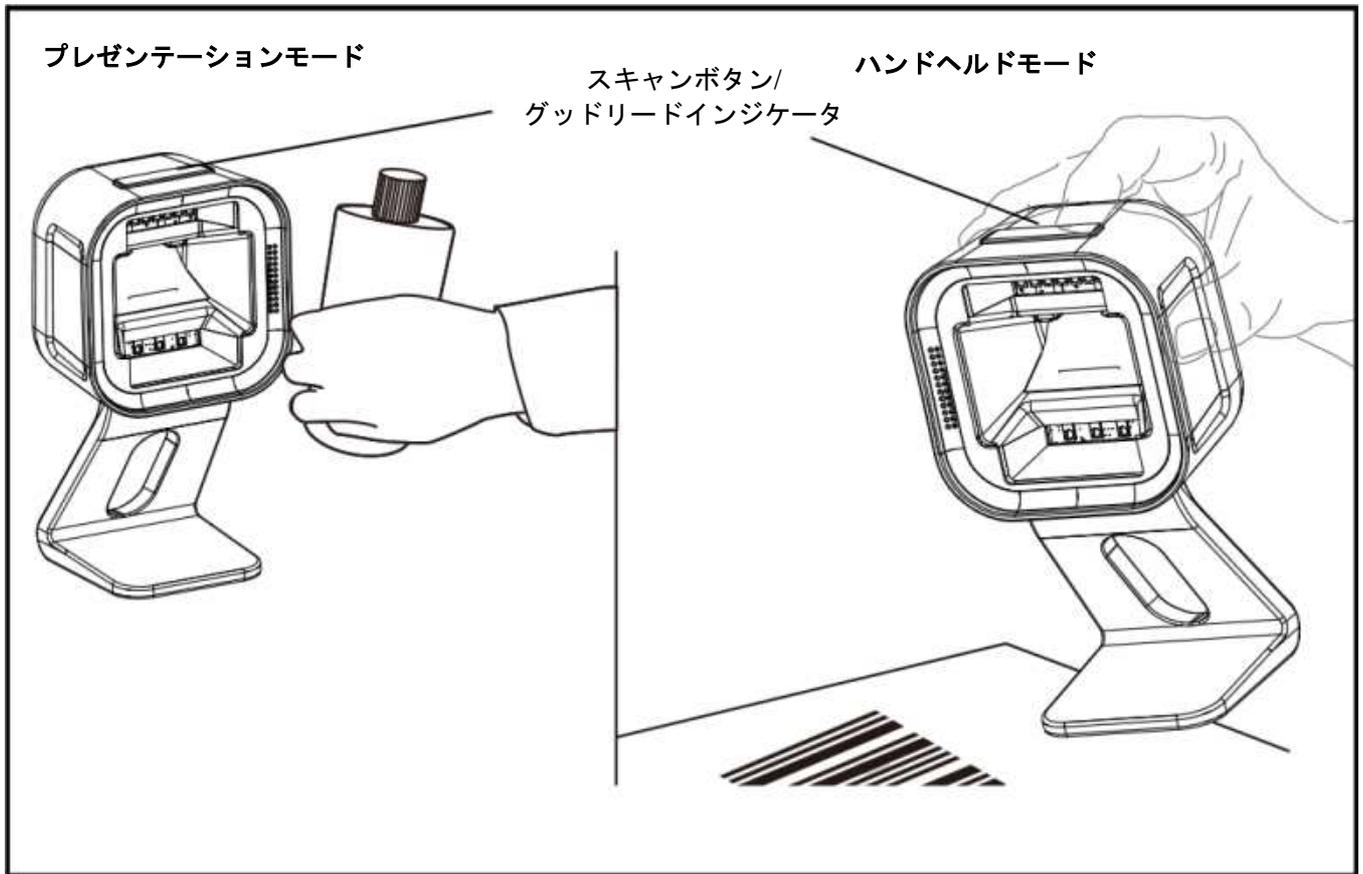


図 4. スキャン方法

#### ハンドヘルドスキャンモード

ハンドヘルドスキャンモードでバーコードを読み取るには：

- ① スキャナを持ち上げます。エイマーLED が自動的に照射します。
- ② 読み取るバーコードにエイマーを当てて、ボタンを押してから離します。

読み取りに成功すると、ボタンが明るい緑で点滅します。さらに、GreenSpot™機能によって緑色スポットを照射して、バーコードが読み取れたことを強調します。

#### センターゾーン制限

設定可能なセンターゾーンを設定してスキャン領域を制限して、選択リストや任意の対象を絞り込みスキャンします。どの方向のバーコードでも読み取ります。設定可能な時間が経過すると、スキャナは元のフルパターンのプレゼンテーションモードに戻ります。

## 4. スキャナボタン

スキャナボタンは複数の機能を実行します。これは、ボタンをどの程度押すかに応じて異なります。



### NOTE

以下に示すスキャナボタン機能は、スキャナが固定されている場合、もしくは、置かれている場合のみ動作します。ハンドヘルドモードの場合は、ボタンはバーコードラベルを読み取るトリガとして動作します。

ボタンを押す時間	機能	説明
瞬時(スキャナがスリープ状態の場合)	スリープモードからスキャナを起動する	以下の方法でもスキャナを起動できます。 - スキャンゾーンを通過させるように対象物を移動する
瞬時(スキャナが起動している場合)	音量を段階的に上げる	ボタンを瞬時に押して、スピーカの音量を上げます。最大音量に達した場合、ボタンを繰り返し押すことで音量は最小設定まで戻り、その後押すごとに上がります。5つの音量レベルを使用できます。
長押しして、ビーパが鳴ったら放す	トーンを段階的に上げる	ボタンを約2秒押し放します。この操作を行うごとに、ビーパは3つのトーンのいずれかで鳴ります。目的のトーン(高、中、低)になったら停止します。
4秒	スキャナ診断モード <sup>a</sup>	このモードでは、システムサポート作業員がスキャナに関する問題のトラブルシューティングを行うことができます。このモードは、スキャナがバーコードを読み取ることができるかどうかの判断に使用されます。ボタンを8秒押すか、電源を切って入れ直すことで、スキャナ診断モードを終了してスキャナをリセットします。
10秒	スキャナをリセットする <sup>b</sup>	リセットはシステムサポート作業員のみが行ってください。

- この機能は、標準初期値では、ユーザが誤って作業しないように通常は無効になっています。
- トレーニングを受けたシステムサポート作業員の指導を受ける場合を除き、ユーザがスキャナのリセットを行わないでください。



### NOTE

スキャナの電源を切り、構成されている設定にリセットすると、スキャナボタンを使用して行われた音量の変更は失われます。音量を恒久的に変更する場合は、別冊「バーコードメニューシート」のプログラミングラベルを使用します。

## 5. LED とビーパ音の表示について

スキャナのビーパが鳴り、その LED が緑色に点灯すると、スキャナのさまざまな機能またはエラーを示します。以下の表に、これらの指示情報を示します。ただし、スキャナの機能はプログラム可能であるため、有効および無効にすることができます。たとえば、一部の指示情報(起動時のビーパ音など)は、設定バーコードラベルを使用して無効にすることができます。

LED指示	表示	説明
起動時の指示	明るい緑色点滅	スキャナがすべての起動テストを完了し、操作の準備ができている状態です。
読み取り成功指示	明るい緑色点滅	バーコードが読み取られてデコードされています。
スキャナ準備完了	淡い緑色で点灯	スキャナの操作の準備ができています。
スリープモード	緑色のLEDがゆっくりと継続的に消灯と薄暗い色の点灯を繰り返す	スキャナはスリープモードです。スキャナを起動するには、スキャナのウィンドウの前で対象物を移動させるか、スキャナの真上のボタンを押します。この指示はオプションで設定できるため、別の動作をするようにプログラムされている場合があります。
ホスト無効	1Hzで緑色点滅が続く (100ms点灯、900ms消灯)	スキャナは、POS端末からの無効コマンドを受けるため無効になります。
診断	状況に応じて異なる(詳細については、12ページの「エラーコード」を参照してください)。	スキャナがセルフテスト中に問題を検出した場合、LEDにより診断フィードバックが提供されます。
設定モード	1Hzで緑色点滅が続く (500ms点灯、500ms消灯)	スキャナは設定モードです。
ビーパ音指示	表示	説明
起動時ビーパ音	シングルビーパ音	起動時LED指示は設定可能な機能であり、有効または無効にすることができます。有効にした場合、このビーパ音は、スキャナがすべての起動テストを完了し、操作の準備ができている状態を示します。
読み取り成功指示	シングルビーパ音	読み取り成功ビーパ音指示は設定可能です。有効/無効、頻度、期間と音量などのオプションがあります。詳細については、別冊「バーコードメニューシート」を参照してください。
診断	状況に応じて異なる(詳細については、12ページの「エラーコード」を参照してください)。	スキャナがセルフテスト中に問題を検出した場合、ビーパにより診断フィードバックが提供されます。
設定バーコード指示	設定する機能により異なる	設定バーコードラベルをスキャンするとビーパが鳴ります。これは、スキャン設定時の進捗状況を示します。

## 6. トラブルシューティングとエラーコード

### トラブルシューティング

問題	解決策
スキャナが起動しない	USB用に設定されているスキャナでRS232ケーブルを使用している場合、スキャナはホストからのOSへ認識されるまでの一連のデータのやり取り(エニューメレーション)を待機するので、起動されません。 これを回避するには、スキャナのボタンを押し下げてから電源を入れます。緑色のライトが点灯したら、ボタンを離します。スキャナは、限定されたスキャン機能のみ使用できる状態で起動されるので、設定ラベルをスキャンして、適切なインターフェイスを使用するようにスキャナを再設定できます。
ホストとの通信が行われない	インターフェイスケーブルがホストとスキャナにしっかり接続されていることを確認します。担当の技術サポート員に相談するか、ホスト側のシステムマニュアルを参照して、スキャナに適したインターフェイスタイプ、ケーブル、接続ポートが使用されていることを確認します。
スキャナがバーコードをまったく読み取らない、あるいは適切に読み取らない	スキャナが認識できる十分な品質のバーコードであることを確認します。しわが寄ったラベル、汚れたラベル、破れたラベルが原因で、スキャナがまったく読み取りを行わない場合があります。品質が保証されている、有効なシンボル体系 <sup>a</sup> のラベルをスキャンして、スキャナの読み取り操作を確認します。ウィンドウが汚れていないことを確認します。

a. バーコードの各種シンボル体系の読み取りは、スキャナで個別に有効または無効にすることができます。

### エラーコード

エラーが検出された場合、スキャナは長く低い音を鳴らし(3 秒間)、LED を点滅させます。この場合、不具合が生じています。この動作が生じた場合、スキャナボタンを押してエラーコードを確認します。この動作になるように設定している場合、スキャナはエラーコードに相当する一連のビープ音を鳴らし、そのビープ音と同時に LED を点滅させます。以下の表では、これらのコードの意味と、それぞれの対応策について説明します。

LED点滅/ビープ音の回数	エラー	修正措置
1	設定	ご購入先の販売店、もしくは巻末の弊社営業担当窓口まで連絡してサポートを受けてください。
2	ホストインターフェイス	
6	メインPCB	
10	ボタンエラー	
11	USBデバイス	
13	FPGA ID	

## 7. 設定コード

### 設定方法

スキャナとそのホストとの間のハード的な接続が完了したら、以下の設定バーコード表にそのまま進み、スキャナの接続先のインターフェイスタイプ(例: RS-232、USB など)を選択します。

開始/終了バーコードを一度スキャンして、設定モードにします。目的のインターフェイスの設定バーコードラベルをスキャンした後、開始/終了バーコードをもう一度スキャンして変更を確定し、設定モードを終了して、スキャナを通常動作に戻します。スキャナの各機能に関してのパラメータの設定については、別冊「バーコードメニューシート」に記載していますので、そちらを参照してください。

### 標準の製品初期値のリセット

お使いのスキャナにどのような設定オプションがあるのか分からない場合、または一部のオプションを変更し、工場出荷時設定を復元したい場合は、以下の標準の製品初期値設定バーコードをスキャンします。このバーコードは、現在アクティブなインターフェイスの工場出荷時設定を現在の設定にコピーします。



標準の製品初期値設定

### インターフェイスの選択



RS-232標準



USBキーボード



USB COMインターフェイス



注意

RS232 でのシリアル通信パラメータは下記の組合せでは、使用できません。

ボーレート：1,200～230,400bps、データビット長：7ビット、ストップビット長：1ビット、

パリティ：無し

## USB キーボード言語



## 液晶画面モード

液晶画面読み取り用の動作モードを有効/無効にします。

- ・ 切替モードでは、ホストコマンドを 1 回送信するごとにモードを切り替えます。
- ・ タイムアウトモードでは、ホストコマンドを 1 回送信すると液晶画面モードを開始して、タイムアウトすると終了します。ラベル読み取り時にタイマは再始動しません。
- ・ 常時オンモードでは、スキャナは、ホストコマンドまたはボタン押下に関係なく、オンのままです。スリープモードには入りません。



## 液晶画面モード割合

液晶画面の読み取りに割り当てられるフレームの割合を指定します。この機能を有効にするには、液晶画面読み取り機能を有効にしておく必要があります。この設定は、液晶画面の読み取りに割り当てられるフレームの可変設定(または割合)を反映しています。



### NOTE

割合を増やすと、オブジェクトセンス(有効な場合)の即応性が低下します。10%より大きな値にすると、スキャン性能に悪影響を及ぼします。



初期値



液晶画面モード割合 = 2.5% (非常に低)



液晶画面モード割合 = 5% (低)



液晶画面モード割合 = 10% (中)



液晶画面モード割合 = 20% (中高)



液晶画面モード割合 = 50% (高)

## 1D コード 2 度読み防止時間

1D コード 2 度読み防止時間機能は、同じ 1D ラベルを再度読み取るまでに経過しなければならない最小許容時間を指定します(2 つの同一読み取り対象品を連続して読み取る場合など)。



**NOTE** 複数読み取りの発生に対応できない場合、2 度読み防止時間設定の値を増やします。



開始/終了



1Dコード2度読み防止時間 = 300ms



1Dコード2度読み防止時間 = 400ms



1Dコード2度読み防止時間 = 600ms



1Dコード2度読み防止時間 = 800ms

## 2D コード 2 度読み防止時間

2D コード 2 度読み防止時間機能は、同じ 2D ラベルを再度読み取るまでに経過しなければならない最小許容時間を指定します(2 つの同一読み取り対象品を連続して読み取る場合など)。



**NOTE** 複数読み取りの発生に対応できない場合、タイムアウト設定の値を増やします。



開始/終了



2Dコード2度読み防止時間 = 300ms



2Dコード2度読み防止時間 = 400ms



2Dコード2度読み防止時間 = 600ms

初期値



2Dコード2度読み防止時間 = 700ms



2Dコード2度読み防止時間 = 800ms

## 2 度読みテーブルサイズ

2 度読み防止が必要な場合に記録するラベル数を指定します。

- ① 以下の 2 度読みテーブルサイズ設定バーコードをスキャンします。
- ② 10 項の「英数字キーパッド」を使用して、必要なエントリ数を表す適切な数字(16 進値)をスキャンします。選択可能な範囲は 01~25 です。1 桁の数値の場合は先行ゼロを付けて、必ず 2 桁で入力します。



2度読みテーブルサイズ設定

この機能の初期設定値: 7

## 電子透かし(DWM)機能

電子透かしをデコードするためのスキャナの機能を有効または無効にします。



**NOTE** デコード機能の場合、電子透かし機能を有効にしておく必要があります。



初期値



電子透かし(DWM) = 無効



電子透かし(DWM) = 有効

## 電子透かし(DWM) 2度読み防止時間

同じ電子透かし(DWM)ラベルを再度読み取るまでに経過しなければならない最小許容時間を指定します(2つの同一読み取り対象品を連続して読み取る場合など)。



### NOTE

複数読み取りの発生に対応できない場合、2度読み防止時間設定の値を増やします。



開始/終了



DWM 2度読み防止時間 = 0.3 秒



DWM 2度読み防止時間 = 0.4 秒

初期値



DWM 2度読み防止時間 = 0.5 秒



DWM 2度読み防止時間 = 0.7 秒



DWM 2度読み防止時間 = 1 秒

## 電子透かし(Digimarc)データフォーマット

電子透かしデータのフォーマットを選択します。以下の選択肢があります。

- ・ 互換モード
- ・ Databar-14
- ・ ネイティブ



### NOTE

デコード機能の場合、電子透かし機能を有効にしておく必要があります。



開始/終了

初期値



電子透かし(Digimarc)データフォーマット =  
互換モード



電子透かし(Digimarc)データ フォーマット =  
Databar-14 モード



電子透かし(Digimarc)データ フォーマット =  
ネイティブモード

## ハンドヘルド状態

有効にした場合、スキャナをハンドヘルド状態で動作させます。



初期値



ハンドヘルド状態 = 無効



ハンドヘルド状態 = 有効

## センターゾーンの有効化

センターゾーンラベルプルーフングを有効または無効にします。「常時オン」モードの場合、ゾーンプルーフングは、アクティブ状態およびハンドヘルド状態のスキャナに対面させたラベルに適用されます。



NOTE

セグメントアセンブリによって描画されたラベルには座標データがなく、センターゾーンラベルプルーフングが有効でもプルーフングは行われません。



初期値



センターゾーンプルーフング = 無効



センターゾーンプルーフング = ハンドヘルド状態が有効の場合のみオン



センターゾーンプルーフング = 常時オン

## センターゾーンサイズ

画像全体に対する割合としてセンターゾーンサイズを指定します。

- ① 以下のセンターゾーンサイズ設定バーコードをスキャンします。
- ② 10 項の「英数字キーパッド」を使用して、必要な割合を表す適切な数字(16 進値)をスキャンします。選択可能な範囲は 01~100%です。数値は先行ゼロを付けて、必ず 2 桁(01~100)で入力します。



センターゾーンサイズ設定

この機能の初期設定値: 10%

## オブジェクトセンス制御

この機能は、照明のアイドル状態を制御します。照明が、オブジェクトセンスによって制御されているのか、または常時オンなのかを指定します。

**有効** = 照明はオブジェクトセンスによって制御されます。

**無効** = 通常の照明の動作モードで使用しますが、スリープモード/無効モードの間はオフになります。



オブジェクトセンス制御 = 有効



オブジェクトセンス制御 = 無効

## 8. 製品仕様

### デコード機能

パラメータ	仕様
1D/バーコード	GS1 Databar™バーコードを含むすべての標準1Dコードを自動識別します。
2Dコード	Aztecコード、Data Matrix、QRコード
スタック型コード	GS1 Databar合成シンボル、GS1 Databar拡張多層型、GS1 Databar二層型、GS1 Databar標準二層型、Micro-PDF417、PDF417
ポスタルコード	Australian Post、British Post、Canadian Post、China Post、IMB、Japanese Post、KIX Post、Planet Code、Portuguese Post、Postnet、Royal Mail Code (RM4SCC)、Swedish Post
電子透かし	Digimarc®バーコード/GS1 DWコードのオプションのサポート

### 電気的特性

パラメータ	仕様
入力電圧	DC 5V±10%
電流	動作時(通常): < 500mA スタンバイ/アイドル時(通常): < 300mA

### 環境仕様

パラメータ	仕様
周囲照度	0~86,100Lux
耐落下性能	1.2mからコンクリート面への繰り返し落下に耐える
ESD保護(気中放電)	25kV
湿度	5~95%(結露なきこと)
保護構造	IP52
動作温度範囲	0~40° C
保存温度範囲	-40~70° C

### インターフェイス

パラメータ	仕様
インターフェイス	USBキーボード、USB COM、OEM (IBM) USB、RS232

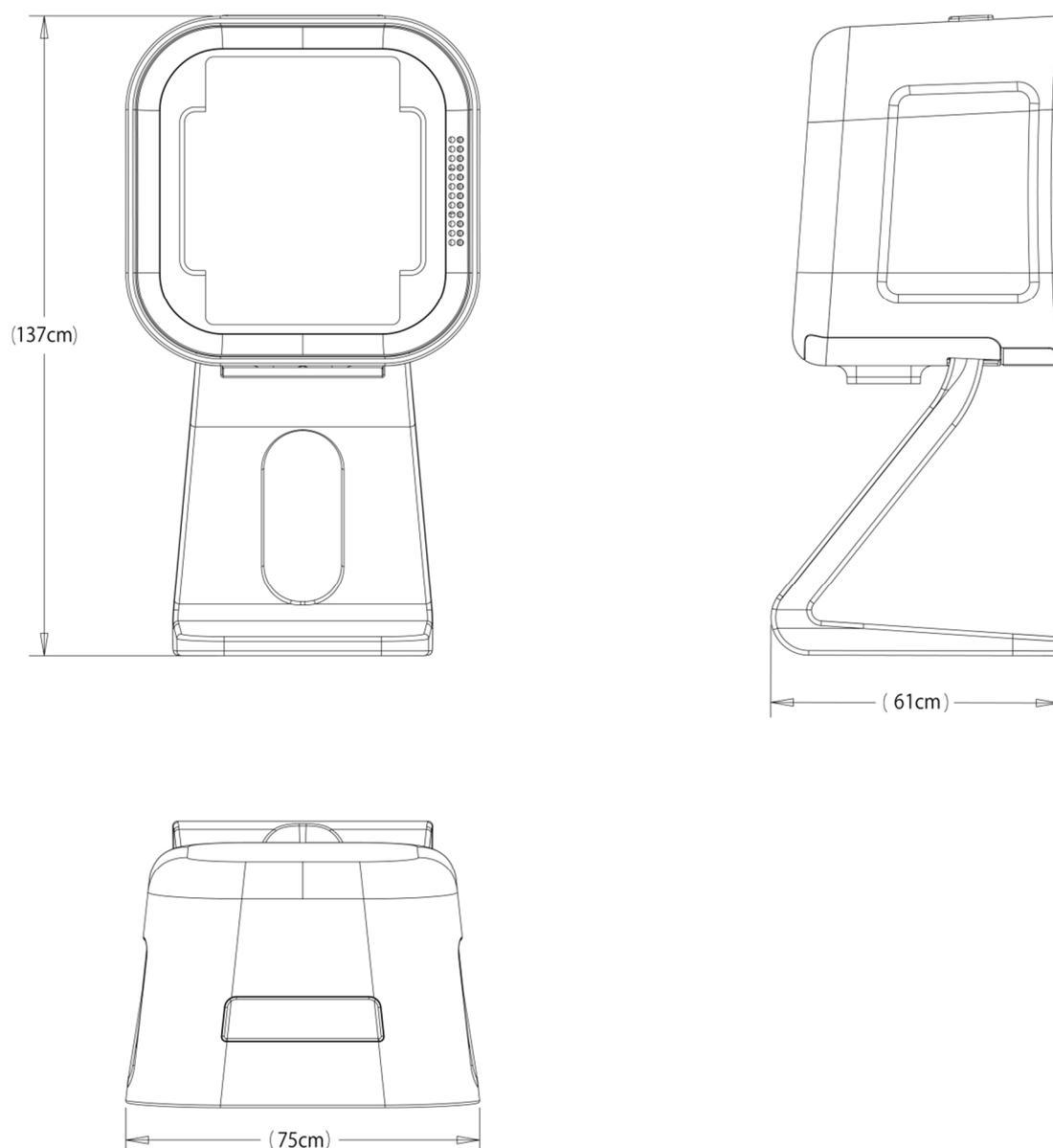
## オプション機能

パラメータ	仕様
EAS機能	チェックポイントシステム:EASハードウェアはCounterpoint IX および Evolve D11で読み取り成功信号として動作します。
付加価値機能	診断レポート、ホストダウンロード、Magellan ULEスクリプティング

## 外観仕様

パラメータ	仕様
寸法	6.0×7.5×15.0cm
重量	240g

## 外形寸法図



## 読み取り性能

パラメータ	仕様
照準システム	精密スキャン用のLED照準器
イメージセンササイズ	1MP、1280×800ピクセル、画像フォーマット:BMP、JPG
PCS(最小)	25%
読み取り高さ	14.0cm
読み取り角度	ピッチ: ±65°、チルト: 0~360°、スキュー: ±75°
読み取りインジケータ	ブザー(トーンと音量の調整可能)、読み取り成功グリーンスポット、読み取り成功LED
分解能(最大)	0.130mm

## 読み取り範囲

パラメータ	仕様
標準読み取り深度	印刷分解能、シンボル長さ、スキャン角度、コントラストおよび周囲照度による
1D/バーコード	0.130mm(5mil): 2.5~9.0cm
	0.19mm (7.5mil): 0~17.0cm
	0.254mm(10mil): 0~21.0cm
	0.33mm(13mil): 0~25.0cm
	0.508mm(20mil): 1~30.0cm
2Dコード(オプション)	0.165mm(6.5mil): PDF: 2.5~11.0cm
	0.406mm(16mil): PDF: 0~20.08cm
	0.33mm(13mil): Data Matrix: 0~17.0cm
	0.61mm(24mil): Data Matrix: 0~25.0cm

## 使用上の注意

パラメータ	仕様
機関による承認	製品は、その使用目的に必要な安全性および規制に関する承認を受けます。
環境への適合	中国版RoHSの準拠、EU RoHSの準拠
LED等級	EN62471およびIEC62471ランプ照明
安全規準	UL/EN/IEC62368-1 および UL/EN/IEC60950-1

## 9. 英数字キーパッド



A



B



C



D



E



F



1

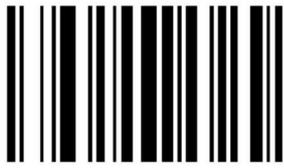


**NOTE**

数字の入力シーケンスでは、スキャナはラベルを読み取るたびに残り入力桁数を通知します。



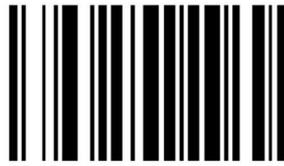
2



3



4



5



6



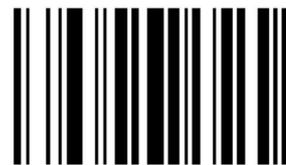
7



8



9



0

# IDEC AUTO-ID SOLUTIONS株式会社 <https://ias.co.jp>

本 社 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2-6-64

 **06-7662-7370** FAX: 06-6398-3202

東京 本社 / テクニカルセンター

〒141-0032 東京都品川区大崎5-6-2 都五反田ビル西館5F

TEL: 03-6674-1145 FAX: 03-6674-1441(営業部)

TEL: 03-5740-5293 FAX: 03-5740-5287(カスタマー・ト部)

名古屋 営業所 〒464-0075 名古屋市千種区内山3-10-17 今池セントラルビル1F

TEL: 052-732-1561 FAX: 052-732-1562

- 記載されている社名及び商品名は各社の登録商標です。
- 仕様、その他記載内容は予告なしに変更する場合があります。

※IDEC AUTO-ID SOLUTIONS株式会社は東証一部上場のIDEC株式会社グループです。

